

佐保ひろば

佐保地域広報紙

第24号

2023年9月30日発行

佐保地域自治協議会

佐保地区自治連合会

<http://www.saho-jichikyo.org>

佐保小・鼓阪小統合へ検討協議会設置

令和8年4月開校 佐保小建替え 体育館一体型に

奈良市教育委員会は若草中学校区の学校規模適正化を図るため、令和8年4月に鼓阪小学校と佐保小学校を佐保小学校敷地内で統合再編し、より良い教育環境の構築へ動き出しました。

小学校統合への具体的な課題解決に向けて保護者・地域住民・学校関係者による「検討協議会」が設置されることになり、佐保地区では9月10日に佐保地域検討協議会を立ち上げ、会長に岡崎忠直佐保地域自治協議会会長が選出されました。鼓阪地域検討協議会の発足後には合同で課題解決を話し合います。

市教委はこれまで佐保、鼓阪地区で計7回の地元説明会を行ってきましたが、地元からは過少校問題と統合、通学の安全、新校舎建設などに関心が集まっています。

<過少校対策と学校統合>

鼓阪小の生徒数は、令和8年度には生徒総数が76名となり、各学年1クラス、1,2年生は10人未満となります。個に応じたきめ細かな指導ができる反面、人間関係の固定化、社会性・

コミュニケーション能力が身につけにくいというマイナス面があり、市教委は適正規模の佐保小との統合が望ましいとしています。

2キロ超通学に送迎車運行

<通学路問題>

佐保小への通学は距離も長く、交通安全の面でも危惧する声が強いです。市教委は開港までに道路の安全対策を進めるとともに、2キロを超える児童については、10人乗り送迎車

を登下校時に運行すると回答しています。

ビオトープ、時計台は移設 <100周年記念の扱い>

昨年、佐保小学校創立100周年の記念事業として地域から多額の寄付によって造られた時計台とビオトープが新校舎用地と重なり、関係者から心配されていたが、市教委から移設の回答がありました。

新校舎は用地東側に建設

<新校舎建設>

佐保小新校舎は当初、用地の南側に建設予定でしたが、近隣住民の強い要望により、東側に建てられることになりました。体育館一体型で、広い廊下の斬新な校舎になるとしています。

新校舎建設は令和6年10月に着工、令和8年3月に完成予定で、4月から引っ越します。北側に設けられるバンビーホームやプールは同年9月に着工、令和9年3月に完成予定です。



佐保まつり 11.5 準備着々

演奏・演技9組 食べ物出店11

10月初め協賛者名入りポスター掲示

11月5日開催の第3回佐保まつりの準備作業は着々と進んでいます。9月15日に実行委員会がふれあい会館で開かれ、各部門から報告がありました。協賛金の入金は目標額の83万円を上回りました。演奏、演技などの催しは9グループが参加、食べ物、ゲームなどの出店数は13になりました。

佐保自治協議会名入りの新しいノボリ20本もすでに発注、協賛金協力者名入りのポスターも10月初めには地区内全自治会と協賛金協力法人に掲示します。まつり前日と当日の準備作業は各自治会長に依頼しています。10月8日に実行委員会を開き役割等の最終確認をします。(2面にプログラムなど掲載)

佐保まつり11.5プログラム

9時30分 開場（佐保小学校）
 10時 開会あいさつ
 午前の部 佐保マーチングバンド開幕演奏
 佐保幼稚園演技
 若草中学校吹奏部演奏（体育館）
 女性グループコーラス（体育館）
 漢国神社獅子舞踊り
 午後の部 バサラ踊り
 育英学園ダンス演技（体育館）
 一条高校薙刀演技
 景品付き抽選大会
 （入場時に100円寄金で
 抽選券1枚配布）
 15時 閉会

食べ物・ゲーム 出店内容

- 奈良県警パトカーと記念撮影
- 大仏鉄道研究会（写真展示・はがき販売等）
- 若草地域包括支援センター（健康チェック）
- 佐保小PTA（ボールすくい・バザー等）
- キッチンカー（唐揚げ・ポテトフライ）
- 奈良中国帰国（手作りギョウザ）
- 白寿荘（らくじ君回転焼き）
- アイリス（フランクフルト・フライドポテト）
- 民生委員協議会（ポン菓子）
- 豊田コーナー（新鮮野菜販売）
- ロジウラ（フライドポテト・燻製ベーコン）
- 立花町自治会（みたらし団子）
- 川路桜保存会（ポップコーン）
- 畠山製菓（手焼きせんべい実演販売）
- 佐保北部婦人会（焼きそば・ホットドック）
- さほ鍼灸整骨院（身体測定コーナー）



微笑む散華 ふれあい食堂で写仏・散華体験

8月12日に若草公民館開かれた佐保ふれあい食堂で児童らの「写仏・散華」体験が行われました。参加者は真剣なまなざしで取り組み、微笑むような散華がたくさん作りだされました。（写真）

ふれあい会館 改修工事完了

新館の利用再開

佐保地域ふれあい会館新館改修工事の完了検査が9月8日にあり、今年2月から行われた工事がすべて終了しました。新館利用は9月13日から、オンライン予約受付も15日から再開しました。

新館のトイレは乾式に一新、男性用は1階、女性用は1階と2階に設け、ウォシュレットも備えています。

佐保ふれあい食堂 10月14日から ふれあい会館で再開

工事中、若草公民館で開かれていた佐保ふれあい食堂は10月14日（第2土曜）から佐保ふれあい会館で再開します。

佐保地区自治活動記録

7月▽11日＝佐保事務局会議。
 14日＝若草中学校訪問。小山篤史校長に面会、佐保まつり出演の依頼。15日＝佐保まつり実行委員会。27日＝ふれあい会館運営委員会。30日＝自治連合会役員会
 8月▽4日＝佐保事務局会議。
 18日＝佐保山こども園、愛の

園こども園訪問、小学校統合検討協議会設置説明。21日＝佐保小学校、佐保幼稚園訪問、小学校統合検討協議会設置説明。22日＝佐保事務局会議。奈良市教委が小学校統合検討協議会の説明。27日＝佐保地区夏季統一防犯パトロール。自治連合会夏季懇親会。31日＝ふれあい会館運営委員会
 9月▽1日＝佐保小学校で小学

校統合保護者説明会。8日＝佐保ふれあい会館改修工事完了検査。10日＝佐保地区小学校統合検討協議会初会合。検討協議会の設置、委員選任。14日＝佐保事務局会議。15日＝ふれあい会館新館もオンライン予約再開。16日＝佐保まつり実行委員会。プログラム、ポスターなど決定。23日＝自治連合会役員会

11月5日に開催

奈良県立大学の第58回大学祭「秋華祭」が、11月5日（日）の10時から19時まで同大学（船橋町）で行われます。今回は学外からも参加でき、事前の予約は不要です。

今回の秋華祭はコロナ禍で縮小した学生間のコミュニケーションの復活に加え、学生と地域との交流の復活も目的としています。当日は学生による40近い模擬店が開かれます。

県立大 秋華祭

またステージでは学生のパフォーマンスに加え、スペシャルゲストの出演も予定されています。

実行委員長の島光里亜さん（3

一般の入場も歓迎

年）は「今年は沢山のコンテンツを用意しています。奈良県立大学の知名度向上を目標に、高校生などにも沢山ご来場いただきたいと思っています」と意気込んでいます。さらに島さんは「より開放感のある奈良県立大学の秋華祭を楽しんでいただけるよう、準備を進めています。皆様のご来場を心よりお待ちしております」と話しています。（県立大生作成）

県立大に「佐保川研究会」学生サークル活動 学内外に魅力発信

奈良県立大学（船橋町）で、新しいサークル「佐保川研究会」が活動を始めました。

これまでに佐保川の源流探索や生物調査、広報紙『佐保川きぶん』の発行といった活動を行っているほか、6月に自治連合会主催で実施された佐保川周辺クリーンキャンペーンにも参加しました。同会には現在2年生11名が所属し、生物、地理歴史、広報の3つの班に分かれて活動して

います。

代表の甲原怜依さん（2年）は「大学でサークルを作ろうと思った時に佐保川を研究するのはどうかと案が出たことが活動のきっかけ」と語り、「今後も清掃活動にぜひ参加させていただきたいです。もっと佐保川の魅力を発見し学内外に発信できるよう頑張ります」と展望を話しています。

佐保川清掃に参加する研究会の部員



佐保川研究会の広報紙『佐保川きぶん』は、同会のSNSから見るることができます。（県立大生作成）

手向山神社と 古き特別な縁 自治会長さんの一言

西笹鉾町第一自治会会長
今中 輝二さん

西笹鉾町は平城京外京二条七坊にあり古くから開けた町。押上町の八坂神社の祇園会に出された笹鉾・練物がこの町から出されたことから笹鉾の町名が生まれたとも伝えられる。一説に東大寺の手向山神社の転害会之祭山鉾がこの町から出されたともいわれている。昔、お渡りが途絶えた時、西笹鉾の庄屋2人が復興のため寄付を募った功績により神社から特別な扱いを今も受けている。

【訂正】23号「自治会長の一言」で幕末の奈良奉行所の塾として紹介した「明鏡館」は、「明教館」の誤りでした。お詫びして訂正します。

佐保まちアングル

買い物難民や居場所づくり

きたまちコンペ研究発表

きたまちエリアの地域課題を、まちづくり団体と市、大学が連携し考えるプロジェクト「奈良きたまちインターカレッジコンペティション2023」の発表会が8月6日（日）に市はぐくみセンターで開かれました。当日は奈良県立大学、奈良女子大学、畿央大学、天理大学、同志社女子大学、奈良学園大学の学生計41人が、各グループで4カ月間取り組んだ成果を発表しました。

学生らは同工エリアが抱える「買い物難民」の問題や地域の情報発信、居場所づくりなどに焦点を当て発表。旧鼓阪幼稚園の活用を取り上げた畿央大学の「静かな森の中で。」が最優秀賞に輝きました。

また、本を中心としたコミュニティスペースとお茶会による交流イベントを提案した奈良県立大学村瀬ゼミの「家族のような、きた

まちへ」が佐保地区自治連合会賞に選ばれました。岡崎忠直会長は「地域が直面している課題に即した提案」と授賞理由を説明。さらに自治連合会役員と意見交換も行いました。（県立大生作成）



打ち水シャワー 猛暑冷やす

猛暑続きの今夏、船橋通り商店街協同組合主催（横田好弘理事長）の恒例の打ち水作戦が7月27日に行われました。近隣の住人、奈良県立大学職員、自衛隊地方連絡所、歌手の川井聖子さん、県会議員、市会議員さんなど約50人がにぎやかに打ち水シャワー。ひと時の冷気を感じる催しとなりました。

佐保路

市立若草中学校 小山 篤史校長

しろかね くがね
銀も 金も玉も 何せむに
まされる宝 子にしかめやも
山上憶良 万葉集 (巻五 803)

「銀や金や宝石も何になろうか。いかにすぐれた宝も、子どもという宝に及ぶだろうか、いや、及ばない。」という歌意の、万葉集に収められている、山上憶良の歌。

平城京の中心地として、万葉のころから続く、伝統あるこの佐保の地ですが、時代は移り変われども『子どもこそ宝である』という思いは、万葉の昔と何も



変わりません。
社会の変化が激しくなり、人

々の価値観がますます多様化していく今の世の中ですが、若草中学校区のすべての園・小・中学校の共通の教育目標である、『生まれ育った地域への誇りを胸に、未来を切り拓く力をもった子どもの育成』という目標を掲げ、教職員一丸となって「未来にはばたく宝」である子どもたちを、地域の皆様と力を合わせながら、しっかりと支え・育てていきたいと思っております。

「子どもたちの笑顔のために」、今後も変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

時代を先取り 幻の城 多聞城

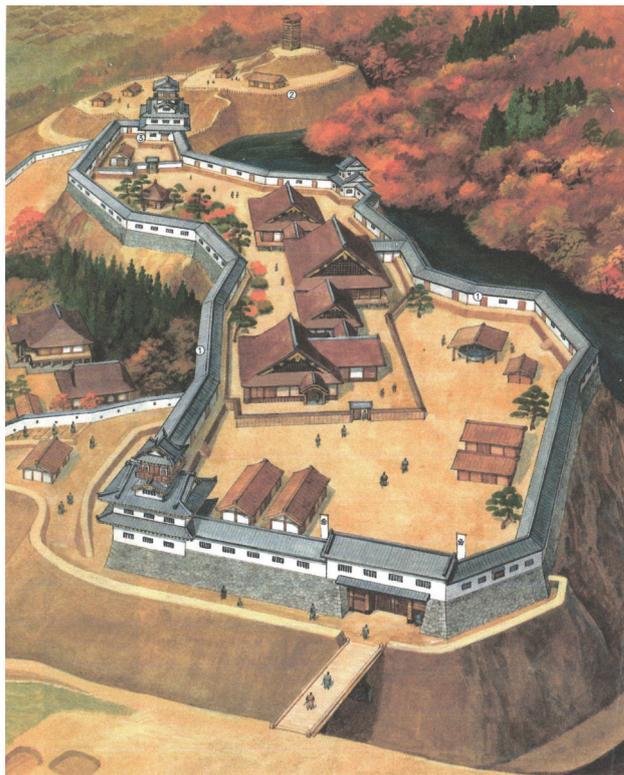
戦国時代、奈良市街北東に聳えていた多聞城は、わずか15年ほどで姿を消しましたが、時代を先取りした画期的な城郭でした。長年研究を続けている「大和・多聞城研究会」の北村雅昭会長(元若草中学校教師)に、その魅力について聞きました。

大和・多聞城研究会 北村会長に聞く

ポルトガルの宣教師ルイス・デ・アルメイダが多聞城を訪れ、本国への報告で次のように記述しています。『家をはじめ櫓や城壁の壁は、とても白く明るく輝いていた。すべての家屋と城壁の屋根は美しく快い様々な形をした黒い瓦が葺かれていた。宮殿の部屋の壁には日本と中国の古い歴史物語が描かれ、絵の周りは金箔が貼られていた』

織田信長が安土城の築城を始めた頃、多聞城の主殿を京都屋敷に移し、また四層櫓を安土城で再利用したと伝えられている。

白壁・瓦葺・障壁画
信長も取り込んだ



多聞城復原推定図 画・伊藤典安
西ヶ谷恭弘『戦国の城』(学研)より



北村 雅昭会長

多聞城は永禄2年(1559年)に松永久秀が現・若草中学校所在地に築城。多聞天が祀られ、本丸、主殿、会所、庫裏の座敷などが並んでいた。久秀が天正元年(1573年)、信長に反旗を翻し、信長に引き渡された後、天正5年(1577年)に破壊された。

先進性・忠臣・文化人 見直される松永久秀

北村会長は「それまでの城郭は板張りの建物で、多聞城は画期的な城郭でした」と説明。

そこで、松永久秀の人物像を伺うと、「将軍や主君を殺し、東大寺大仏殿を焼いた梟雄といわれ、大悪人として伝えられているが、近年の研

究では生涯主家に忠節を貫いた忠臣で、先進性を持つ、高い美意識を持った文化人であることがわかってきた。敵対するものが悪人イメージを吹聴したのでしょうか」と、久秀像への思いが垣間見えた。

同研究会は令和5年に冊子『幻の

城 多聞城』を発行。城跡近くの若草公民館を拠点に講演会を開き、失われてしまった多聞城の痕跡や若草中学校建設前の写真などを探し求めています。

連絡先は、〒619-0240
京都府相楽郡精華町祝園1-21-4